

こどもとミライを応援するウォータースタンド



WATER
STAND

ウォータースタンドレポート 2024

今日よりもっと、清^すんだミライへ

ウォータースタンドは
マイボトルを持ち歩く人のため、
2030年までに**無料給水スタンド**を
日本国内に**10万台**設置します。

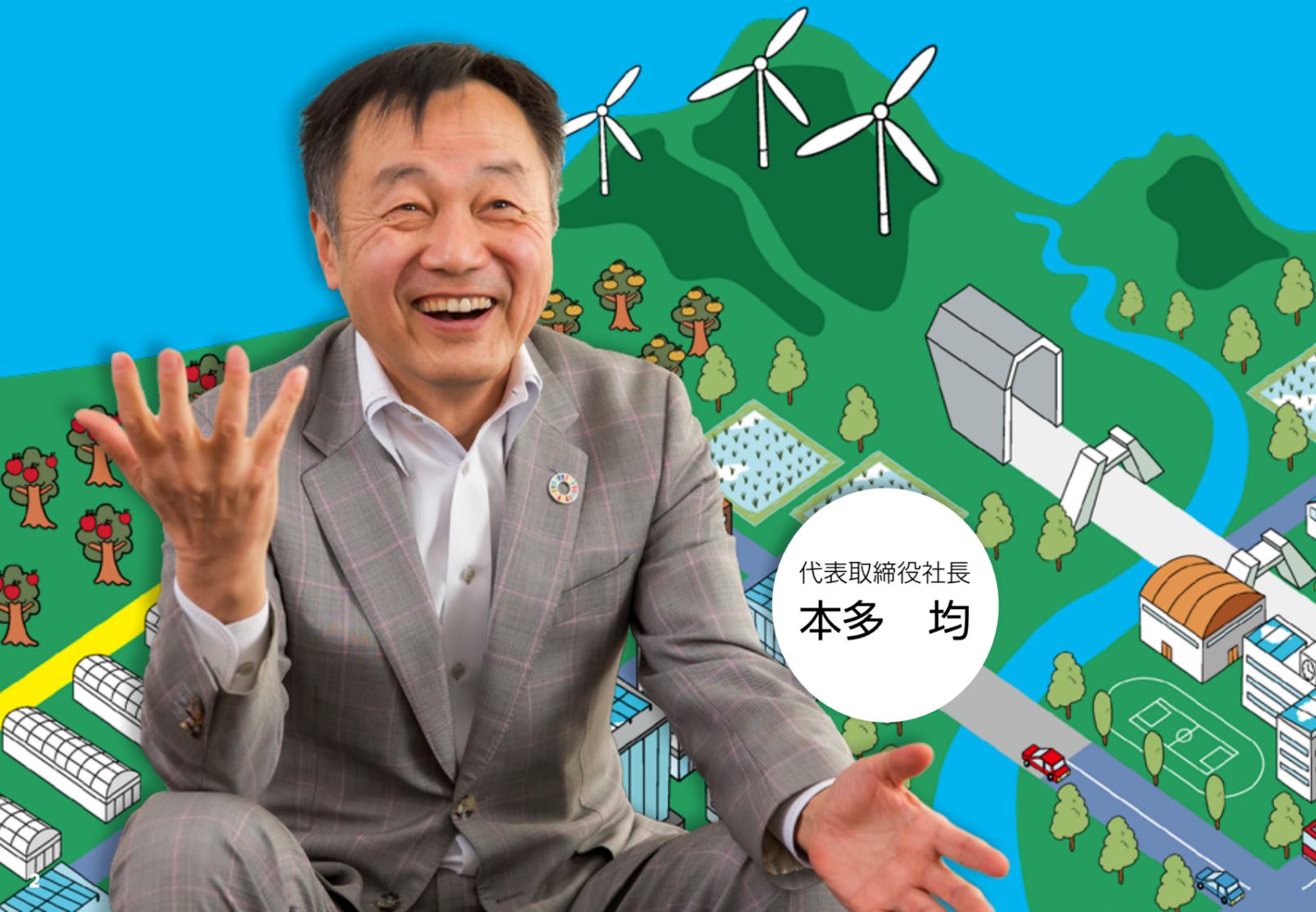
ウォータースタンドは2024年7月から “こどもとミライを応援するウォータースタンド” として生まれ変わりました

MISSION

ウォータースタンドは未来の世代のために
より良い地球環境を引き継ぎます。
わたしたちは、2030年までに
日本の使い捨てプラスチックボトルを
30億本減らします。

VISION

ウォータースタンドは
マイボトルを携帯する新しい文化を創り
気候変動とプラスチックによる
環境問題に取り組みます。



代表取締役社長
本多 均

ウォータースタンドレポート 2024 発行にあたって

ウォータースタンドレポート2024を手にとって頂き、ありがとうございます。

5年にわたり発行してきたウォータースタンドレポートは、すべてのステークホルダーの皆さまに弊社が「どのような思いで、どのように事業を運営しているか」をお伝えし、対話するために制作して参りました。

弊社の5年間で変化に満ちていたのと同様に、誰にとっても日々の暮らしは平穏なものではないと思います。ここ一番の仕事やライフイベント、さまざまな踏ん張りどころがあるのが人生です。育児や介護など自身以外の方を支えておられたり、ライフステージの変化があったり、暑い日も寒い日もミライをかばんに詰め込んで学校に通ったり。そして、そういったがんばる人をそばで応援する方たちもいます。

日々の暮らしは、マイナスをゼロにすることの連続です。お腹がすいたら食事をする。散らかったら片づける。汚れたらキレイにする。のどが渴いたらお水を飲みます。私たちは浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」を通じて、お水に関するマイナス、「不」(不便・不足・不安)をゼロにします。家や学校、会社、街かなどあらゆる場所で暮らしに寄りそい、「おいしさ」や「便利さ」でゼロをプラスにしたいと考えています。

生きていくのになくってはならないお水だからこそ、今日のお水の「おいしさ」や「便利さ」が「清んだミライ」につながるよう、多くの方と手を取り合い、共創して参りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

OUR MESSAGE

あたりまえを変えていく

わたしたちの身の回りには
ポイ捨てのもとになる
使い捨てのものがたくさんあります

今日もミライも両方たいせつ

水道水を使えば
プラスチックボトルを運ばない、
捨てないことができます

マイボトルを持っていればだれでも

マイボトルを持っていればだれでもが
おいしいお水を給水できる
給水スタンドを設置します

今日何を選ぶかが ミライを決める

おいしいお水と
環境へのやさしさを両立します

ウォータースタンドが

たいせつにしたいこと

マイボトルに
給水する

ミライのお水を
守る

ウォータースタンド ESG リーダーメッセージ

こども達と共に取り組むリデュース&リユース

福山営業所 中村 寿希也

日々、お客さまとの会話の中で出てくるのはマイボトルの話題です。今ではこども達がマイボトルを持って保育園や幼稚園、学校へ行くのが当たり前の習慣になってきています。しかし、大人になるといつの間にかマイボトルを持たなくなってしまいます。「マイボトルを持つ」という習慣が大人になっても続けられるよう、今後も給水スポットを街なかに増やしていきたいです。



意志あるところに道は開ける

システム部 飯田 博之

「ウォータースタンド」を通じ、こども達の未来に健やかな地球を残すことが私の願いです。そのためには、声を上げて周囲からの賛同と協力を得ながら、今ある世の中の価値観を変革していく必要があります。弊社の「ボトルフリープロジェクト」を起点に、さらにその先へとムーブメントを広げ、未来への責任を果たしたい。そんな志を胸に、今日も目の前の仕事に全力で取り組んでいます。



SPECIAL FEATURE

ウォータースタンドが実現する ハピネスの全体像

ウォータースタンドは、お水を通じたハピネスのご提供と環境負荷の低減を、事業の両輪として運営して参りました。

新しい時代を創出する
ミライの世代とのパートナーシップ

全国で101件の
自治体・教育委員会・水道局との
パートナーシップ

企業・教育機関との
パートナーシップ

マイボトルへの給水をきっかけに
ライフスタイル転換へ

全国でのサービス展開

目指す姿の達成

給水スポット設置拡大

脱炭素×健康増進

こどもとミライを応援する
サーバーへの転換

地域に根差した水分補給の提案

自治体との
地域一体での取り組み

緩和と適応 両輪での
気候変動対応

地域のパートナーとの連携

地域課題に合わせたご提案

ワンウェイプラスチック
削減

顔が見える地域に
密着したサービス

お客さまのニーズに合わせたご提案

QOL 向上

お水に関する「不」
(不便・不足・不安) の解消

利便さ

MISSION

ウォータースタンドは
未来の世代のために
より良い地球環境を引き継ぎます。
わたしたちは、2030年までに
日本の使い捨てプラスチックボトルを
30億本減らします。

浄水型ウォーターサーバー
「ウォータースタンド」

VISION

ウォータースタンドは
マイボトルを携帯する
新しい文化を創り
気候変動とプラスチックによる
環境問題に取り組みます。

ウォータースタンドで実現する ハピネスの事例

ウォータースタンドは浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業にとどまらず、多様なパートナーと協力し、マイボトルを持ち歩く文化の創出に向けた取り組みを行っています。



SPECIAL FEATURE

今もミライも、事業を通じて 子ども達のより良い環境を創り出したい

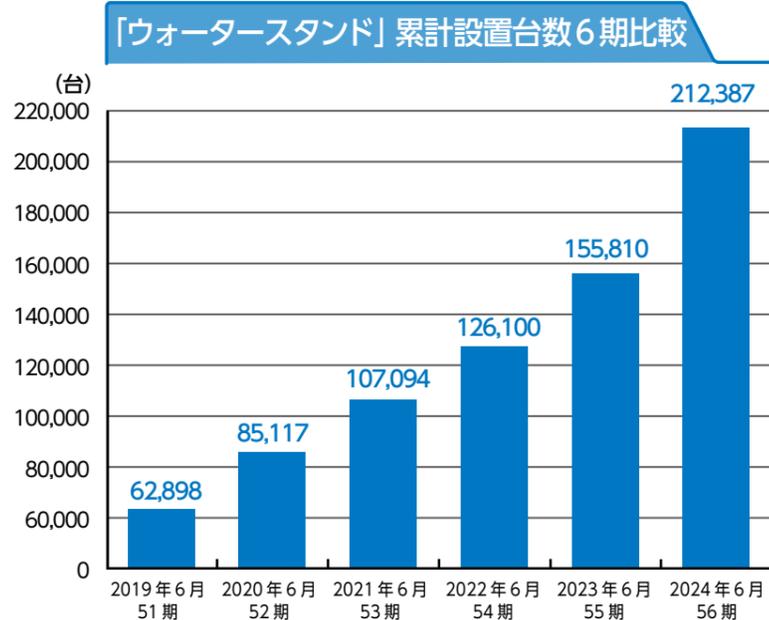
浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」により、生活とミライを豊かにします。



浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」の特徴

「ウォータースタンド」は、誰もがアクセスできる社会インフラである水道水を活用することでプラスチックボトルを運ばない・捨てないウォーターサーバーです。ご利用に際しては、初回設置費・撤去費などの作業実費以外の初期コストや解約金・違約金はなく、月額定額制となっています。

「ウォータースタンド」は給水型と水道直結（自動給水）の2タイプがあり、お客さまご自身でフィルターを交換頂くセルフメンテナンスと、弊社専門スタッフの訪問による定期メンテナンスで、お水のおいしさを保っています。10タイプ以上の機種をご用意し、用途や設置環境に合わせて最適な機種のご提案をしています。



社会課題解決に貢献する「ウォータースタンド」

弊社はより良い地球環境をミライの世代に引き継ぐため、マイボトルへの給水を通じたワンウェイプラスチックボトル削減に貢献するべく「ウォータースタンド」をマイボトル用無料給水スタンドとして街なかに設置して参りました。ワンウェイプラスチックボトルからマイボトルへの転換は、「ウォータースタンド」が提供する高品質なお水によって支えられています。

誰もが無料で給水できる
「ウォータースタンド」設置台数

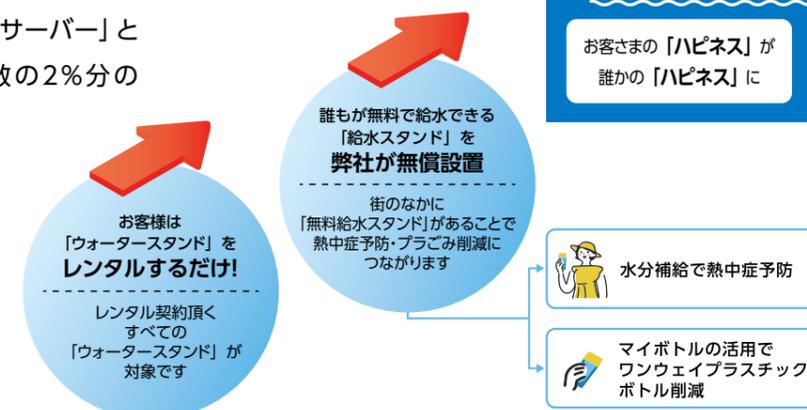
3,384台

(2024年10月末)



「子どもとミライを応援するサーバー」とは？

2024年7月からは、レンタル契約頂くすべての「ウォータースタンド」を「子どもとミライを応援するサーバー」と定義し、レンタル契約台数の2%分の「ウォータースタンド」を「子ども」の「ミライ」を育む場所に「無料給水スタンド」として無償設置する活動を開始いたしました。



ウォータースタンドが解決したい社会課題

「ウォータースタンド」事業は、日本の水資源が保全されて初めて成り立つものです。私たち自身が持続可能な事業運営を行うことが、豊かな水資源の維持につながります。

- ・ワンウェイプラスチックボトル削減
- ・CO₂排出量削減による気候変動の緩和
- ・持続可能な廃棄物処理
- ・地域の雇用創出・ダイバーシティ推進
- ・循環経済への移行
- ・気候変動への適応
- ・健康寿命の延伸
- ・稀少な水資源の保全・地盤環境の維持



社会課題解決に向けた自治体とのパートナーシップ

弊社は、2024年10月末時点で全国の自治体・教育委員会・水道局と101件のワンウェイプラスチック削減に向けた協定を締結しています。近年、夏場の暑さが激しくなっており、おいしいお水への需要増加に伴いプラスチックボトル飲料の出荷本数が増大しています。一方、大量生産・大量消費へ抵抗感を感じる人も少なくありません。弊社は自治体と協働し、街なかでもマイボトルへ給水できる環境整備を進めています。



PARTNERSHIP

パートナーとの連携による価値共創

唐津市と弊社は2023年4月に協定を締結し、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題解決に向け連携して参りました。

令和6年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業

唐津市では市民や地域の小・中学生、高校生と共にビーチクリーンや海洋ごみ収集の取り組みをしています。これらに加え、海草をはじめとした種苗の投入などのイベントを通じ、海洋ごみ問題やそのごみを与える生物多様性への影響について考える機会を創出する事業が、環境省の「令和6年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」として認定、実施自治体に決定しました。



唐津市に「こどもとミライを応援するウォータースタンド」を設置

弊社は2024年9月、安心安全な飲み水の提供とワンウェイプラスチックボトル削減に向けた環境教育の啓発のため、未来を担うこどもの居場所である佐賀県唐津市の12施設に無料でマイボトルへの給水ができる浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」を追加設置しました。これは「こどもとミライを応援するサーバー」として設置した全国で初めての事例となりました。

設置場所

- ・鏡山第1放課後児童健全育成施設
- ・久里放課後児童健全育成施設
- ・巖木放課後児童健全育成施設
- ・鏡山第2放課後児童健全育成施設
- ・大志放課後児童健全育成施設
- ・唐津市子育て支援情報センター
- ・長松放課後児童健全育成施設
- ・浜崎第1放課後児童健全育成施設
- ・唐津市子育て支援センター（キッズルーム）
- ・西唐津放課後児童健全育成施設
- ・浜崎第2放課後児童健全育成施設
- ・唐津市立若竹保育所

1人ひとりが起点になって

いろんな人とつながって

1人の100歩より、
100人で1歩ふみ出そう

ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業において唐津市の皆さんと実施する具体的な取り組み

ダイバーおよび漁業者による海中ごみの収集に併せて「アマモ」の種苗の投入などを行い、海域における生物多様性の保全に資する取り組みのイベントを実施します。



海中の様子を配信し、海洋ごみが生態系へ与える影響を可視化することで、ごみに対する当事者意識醸成を促します。



イベント時にマイボトル用給水機を設置し、市民・事業者の皆さまと協働で海洋ごみの発生抑制に取り組みます。



Voice

唐津市市民環境部 環境課 カーボンニュートラル推進係 榎崎 徹さん

唐津市とウォータースタンドは2023年4月にプラスチックボトル削減を目指したプラスチックごみ削減に関する協定を締結し、公共施設および学校を中心に給水機を設置しマイボトルの普及を促進しています。また、小学生に対して環境に関する出前授業を実施したり、こどもや子育て世代を応援する「こどもとミライを応援するサーバー」を全国で初めて市内の子育て関連施設へ設置するなど、単にマイボトル用給水機を設置するだけでなく、多方面で連携しています。



唐津市立東唐津小学校での出前授業の様子

2024年に採択された環境省の「令和6年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」は、市内のペットボトル削減を目指した取り組みを端緒に、ごみの減量だけでなく、広く自然環境の再興に向けた取り組みとして発展しました。本市とウォータースタンドはネイチャーポジティブの実現を目指し協働して参ります。

「moveco ムブコー」を活用



株式会社ナビタイムジャパンが提供する移動エコ活アプリ「moveco ムブコー」の自治体連携プランを活用し、ひとりひとりの環境にいいアクションが唐津市全域でどれだけのCO₂削減につながったのか確認できる予定です。



「moveco」アプリダウンロードはこちら



ハピネス創出に向けた ウォータースタンドの価値創造プロセス

ウォータースタンドは事業を通じて社会課題解決に取り組み、地球環境への負荷軽減を図ることでミライの世代に豊かな水資源を継承します。

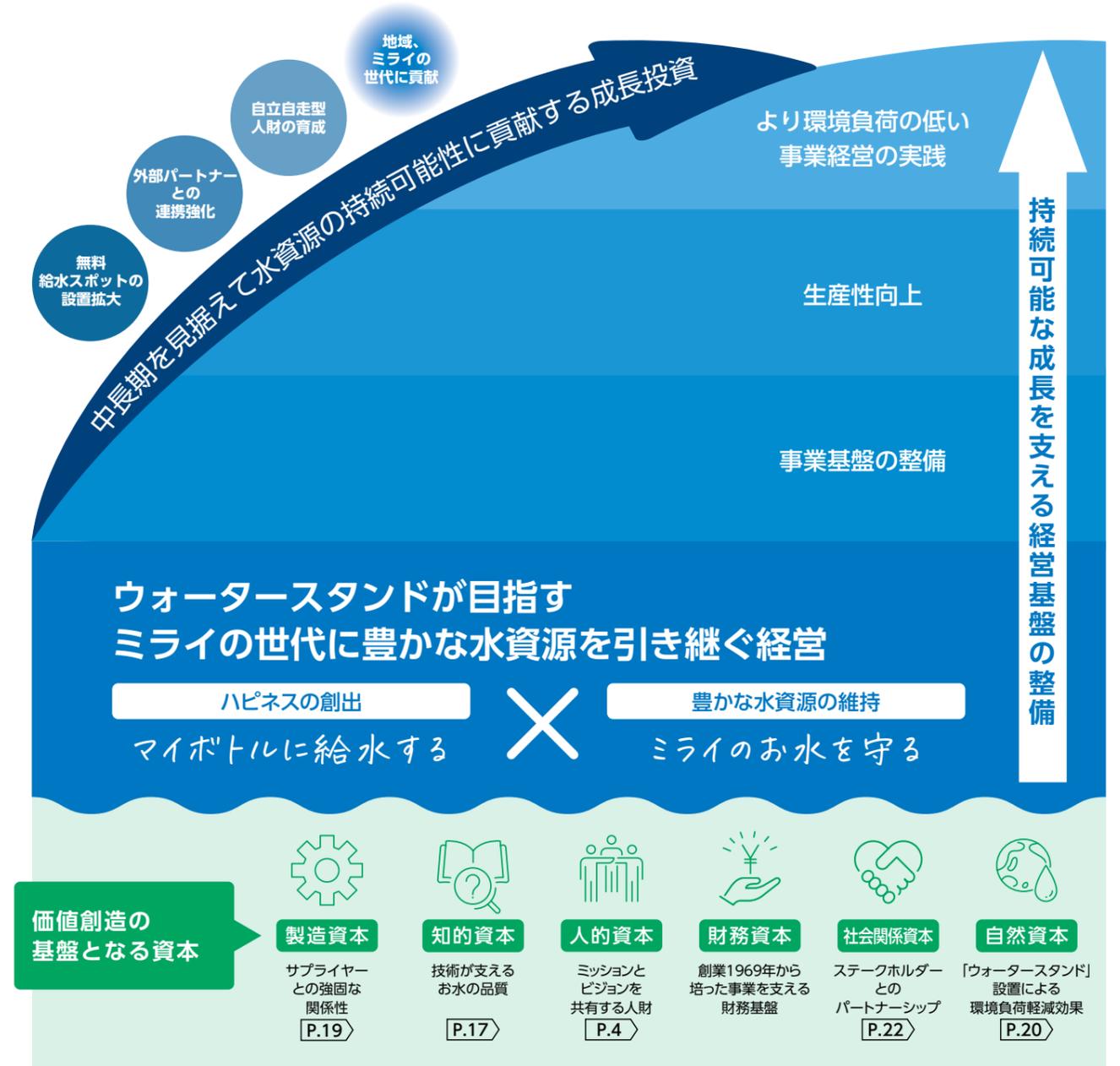


ウォータースタンドが認識する重要課題 [P.14-15](#) マテリアリティ

ミライの世代に豊かな水資源を引き継ぐ経営

私たちの生活に欠かせない「お水」は、飲料などに活用できる形では地球上に0.01%しかないといわれる稀少な資源です。

豊かな水資源をミライの世代に継承することを目指すウォータースタンドは、地球温暖化や海洋プラスチック汚染などの環境問題に取り組みます。弊社は水資源の循環に関わる一員として、事業活動による環境負荷の軽減や持続可能な事業運営を意識したビジネスモデルの充実を実現します。



価値創造に向けた基本戦略



ウォータースタンドのマテリアリティ —取り組むべき重要課題—

ウォータースタンドの存在意義は、「お水に関する『不』を解消し、健康で快適な生活に寄与しながら持続可能な社会を創出すること」です。この使命を持続可能なものにするために、取り組むべき課題をマテリアリティとして整理し、これまでとこれからの取り組みをまとめました。

弊社にとってサステナビリティとは、社会と共に持続可能な成長を遂げることです。これからも持続可能な社会の実現に取り組んで参ります。



- お水に関する「不」(不便・不足・不安)の解消**
 - ワンウェイプラスチックボトルの削減
 - CO₂ 排出抑制による地球温暖化の緩和
 - 水分補給による熱中症などの健康被害の抑止
 - 日本の水道事業の課題解決に向けた貢献
 - 脱炭素に向けたサステナブルなライフスタイルの提案
- おいしいお水の提供**
 - 地域担当スタッフによるコンサルティング
 - お客さまの生活動線に添った最適な設置場所のご提案
 - お客さまニーズに合った機種のご提案
 - サプライヤーとのパートナーシップによる高品質な商品のご提供
 - 生活を豊かにするお水の活用法のご提案
- 環境に配慮した事業の推進**
 - 業務プロセスにおけるエネルギー、CO₂ 排出の抑制
 - 商品ご使用時のエネルギー、CO₂ 排出の抑制
 - 商品ライフサイクル、業務プロセスにおける資源循環
- 公平公正な取引と業務の遂行**
 - 社会の公器としての責任遂行と社会価値の創出
- 地域社会への貢献**
 - 地域との価値共創
- 働きがいのある環境づくりとダイバーシティの推進**
 - 自身と会社の成長を同時に実感できる場の創出
- 持続的・安定的に成長する企業運営**
 - 持続可能な成長による社会価値の提供

サービス品質の継続的改善

お水に関する「不」（不便・不足・不安）の解消

地域の水道インフラを活用する「ウォータースタンド」

「ウォータースタンド」が解決する社会課題

内閣府の調査*によると、「女性の8割以上、男性の7～8割が女性に家事・育児などが集中していることが、職業生活において女性の活躍が進まない理由と考えている」との結果があります。

※内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和4（2022）年11月調査）

弊社は「ウォータースタンド」を通じて、ボトル飲料の購入や廃棄ボトルの処理、お茶の煮沸といった「名もなき家事」負担や、お水にまつわるコストを軽減し、水分補給を通じて健康増進にお役立て頂きたいと考えています。

弊社は全国に65カ所*の営業所を設置し、「ウォータースタンド」のアフターサービスやトラブル対応が円滑に行えるよう地域に根差した事業運営を行っています。雇用を創出するだけでなく、各地の水道事情に合わせたきめ細かい対応を行うと共に、プラスチックごみ削減・気候変動対策などを含めた幅広い社会課題への貢献を可能にしています。

※2024年12月末時点

暮らしと環境に寄りそう「ウォータースタンド」の特徴

「ウォータースタンド」は月額定額制の料金設定となっており、飲用だけでなく、お米を研いだり麺を茹でたりといった生活のあらゆるシーンにフィットします。フィルター交換のタイミングは、お水をたくさん使って頂いても品質を保持できるよう、機種ごとに設定しています。

自治体をはじめ企業や教育機関など多くのパートナーと推進する「ボトルフリープロジェクト」の取り組みは、マイボトル用給水機として多くの方に給水頂いてもお水のおいしさを保持できる「ウォータースタンド」の特徴によって実現しています。

初期コスト・違約金のないサービス体系

弊社では、サービスをご利用頂くにあたり入会金などの初期コストや、解約金・違約金といった追加コストのご負担をお客さまに願うことはありません。

解約撤去時のサービス比較イメージ

ウォータースタンド
※セルフメンテナンス機種のみ



0円

他社の場合



違約金



お客さまご自身で返送

おいしいお水の提供

技術が支えるお水の品質

地域担当スタッフによるコンサルティング

「ウォータースタンド」設置の際は、地域担当スタッフがお客さまのご希望をお伺いし、機種や設置場所、設置方法についてご相談に応じます。これまでの設置に関する豊富な知見を活かし、生活動線に合わせて、使いやすさを考慮したご提案を行うことが可能です。

お水のプロである地域担当スタッフによる安心サポート



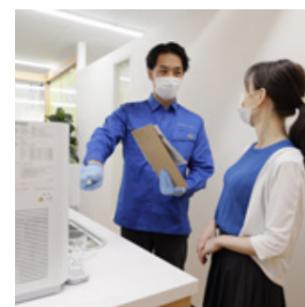
「ウォータースタンド」の取付と水栓からの設置作業は、すべて専門的な技術トレーニングを積んだ地域担当スタッフが行います。万が一の故障やトラブルの際も無料で訪問修理を行います。

※給水装置工事主任技術者とは、水道法に基づき国土交通大臣及び環境大臣（令和5年度までは厚生労働大臣）が認定する国家資格です。給水装置工事の技術水準の確保と、工事により設置された給水装置が構造材質基準に適合することを目的として、全国一律の国家試験により認定される資格となっています。

給水装置工事
主任技術者[※]有資格者数

15名

(2024年12月末)



「ウォータースタンド」はメンテナンスを行うことで長期間にわたる使用が可能となるほか、お水の水质を保持することができます。メンテナンス方法は弊社の地域担当スタッフが出向いて実施する定期メンテナンスと、簡単に交換可能なフィルターを定期的にお届けし、お客さまご自身でメンテナンスをして頂くセルフメンテナンスの2種類です。

お客さま対応スタッフ男女比



(正社員のみ、2024年6月末)

Voice

地域のお客さまから頂く「ありがとう」の声

朝霞営業所 藤井 勇

お客さまと日々接する中で、「ウォータースタンド」によって時短やごみ捨て、買い物の手間の削減につながったと喜んで頂いています。私は、多くのお客さまからこのような「ありがとう」のお声を頂けるよう、ご提案や設置、アフターサービスまで一貫して心を込めて対応しています。

こども達がマイボトルに給水できる環境を拡大することは、水分補給をアシストするだけでなく、環境に関わる仕事や社会課題への興味喚起にもつながっていると思います。



ウォータースタンドの商品品質

おいしいお水の提供

多様なニーズに応えるラインナップと商品品質



浄水性能を支える2種類のフィルター

RO (逆浸透膜) フィルターについて

ROは「Reverse Osmosis Membrane」の略で日本語では「逆浸透膜」といいます。RO (逆浸透膜) フィルターは、1960年代にアメリカで将来の水不足対策として、飲料水を確保するために海水を淡水化し、RO水 (純水・ピュアウォーター) をつくる名目で開発された浄水フィルターです。浄水器の中では最高水準の性能で、NASAでも採用され、宇宙ステーションなどで飲み水を循環サイクルするために利用されています。RO (逆浸透膜) フィルターは0.0001 μ m (マイクロメートル、ミクロン) という超微細な孔を持っていると言われています。原水をフィルターに通すと、ほぼ水分子だけを通過させて、細菌類やウイルス類、有害化学物質を通さず廃棄水として排水します。



RO フィルターシステムの詳しい仕組みはこちら

ナノトラップ™ フィルターについて

ナノトラップ™ フィルターには、NASA主導で開発されAhlstrom (アールストローム) 社が量産権利を持っている「ナノアルミナ繊維 (陽電化ナノ繊維)」という、静電気の力によって不純物を吸着する性質を持つ特殊なナノファイバー素材を使用しています。ナノトラップ™ フィルターを搭載した「ウォータースタンド・ナノシリーズ」では、JIS規格で定められている対象物質の除去はもちろん、一般的な浄水器では除去できないような微細なウイルスや塩素消毒では死滅しないとされる病原性微生物も除去することが可能です。



ナノトラップ™ フィルターシステムの詳しい仕組みはこちら

JIS 17項目 + JWPAS 4項目除去で安心※1

JIS S 3201:2019 家庭用浄水器試験方法の対象物質17項目を除去※2。
JWPAS (浄水器協会による自主規格基準) の対象物質4項目も除去※3。

- ※1 JIS S 3201:2019の試験方法で規定された除去物質 (17物質) とJWPAS B.210 (浄水器協会自主規格基準) で規定された除去対象物質 (4物質)。
- ※2 JIS S 3201 ろ過能力試験による除去率80%の物質。
- ※3 JWPAS B.210 (浄水器協会自主規格基準) による除去率80%の物質。なお、アルミニウム (中性) と鉄 (微粒子状) は除去性能試験の結果です。

有機フッ素化合物 (PFOSおよびPFOA) 除去試験結果

2023年7月、浄水器協会 (JWPA) の規格基準 (JWPAS B) に規定された試験方法を実施し、弊社のナノトラップ™ フィルターシステムにおいて、有機フッ素化合物 (PFAS) の一種であるPFOSおよびPFOAが除去できることが確認できたため、除去対象物質に追加しました。

安全と環境負荷軽減へのこだわり

「ウォータースタンド」のサプライヤーは、韓国最大かつ世界的な浄水器メーカーであるCoway社です。弊社は同社の日本における唯一の正規代理店です。

Coway 社について	
売上高	3兆9,665億ウォン (2023年12月期)
顧客アカウント数	1,021万件 (2023年12月期)
顧客満足度	92.7%

Coway 社が選定されている主要なサステナビリティ指標

- ・S&P ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) アジアパシフィック
- ・MSCI ESG評価 Aランク
- ・FTSE4Good 構成銘柄
- ・CDP 気候変動 B-
- ・Korea Institute of Corporate Governance and Sustainability A
- ・モーニングスター・サステナビリティ ESGリスク評価 18.2 (低リスク)

安全性と操作性へのこだわり

「ウォータースタンド」は人間工学に基づき使いやすさを追求しています。また、温水抽出時の安全性を高めるためにチャイルドロックなどの機能面での充実も図っています。安全性能の向上に向けて、Coway社は11の認定ラボを運営し、国内外の動向や認証規制に迅速に対応しています。ノルウェーの安全試験所であるNorges Elektriske Materielkontroll (NEMKO) と提携し、欧州市場における電気・電子製品のENECやCBなどの安全認証も取得しています。

浄水性能と環境性能の追求

「ウォータースタンド」は、国際的な浄水性能認証機関であるNSF Internationalの認証と、アメリカの飲用水関連機器市場において信頼性のある認証マークであるWQA (Water Quality Association) ゴールドシールを獲得しています。Coway社は韓国国際ソムリエ協会と共同で公認評価指標を開発し「水のおいしさ認証制度」を導入し、「アイコン」を含む同社の59製品がWTQ (Water Taste Quality) 認証を取得しています。また、「ウォータースタンド」は節電・省エネ設計にもこだわっています。温室効果の高いフロンガスを使用しない冷却方法の採用をはじめとした環境性能向上のため、2020年から温水・冷水器のエネルギー効率向上プログラムを韓国適合性試験所 (KCL) と共同で開発する国家プロジェクトを実施、2021年3月に世界で初めてプログラムの開発に成功しました。

Coway社との協働で実現した給水型ウォータースタンド「ピュアライフ」

弊社は日本のお客さまのニーズをCoway社にフィードバックし、より良い商品開発に役立てています。水道水をタンクに注ぐだけで簡単においしいお水が注ぐ給水型ウォータースタンド「ピュアライフ」は、高品質な商品を設置作業不要でご利用頂けるよう、Coway社との協働により実現しました。



資源循環と環境マネジメント

環境に配慮した事業の推進

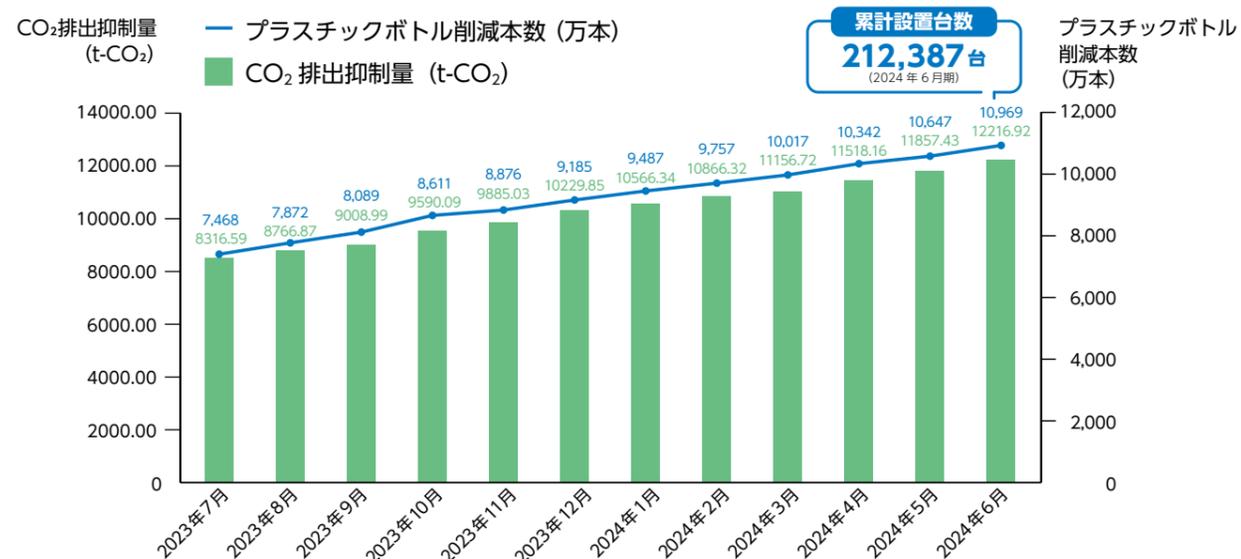
「ウォータースタンド」設置による環境負荷軽減効果

パートナーシップによって実現する「ボトルフリープロジェクト」



「ボトルフリープロジェクト」とは、多様なステークホルダーと共に、マイボトルへの給水を通じてワンウェイプラスチックボトルの削減を推進する取り組みです。誰もがアクセスできる水道水を使う浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」の特徴を活かし、プラスチックボトルに入ったお水を「ウォータースタンド」で代替した場合の環境負荷軽減効果が見える化し、ライフスタイルの転換を呼びかけています。日本は2020年10月「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表し、2030年度の温室効果ガス排出量を46%削減(2013年度比)する目標を掲げています。弊社は2023年6月期から、水道水を活用しボトルの運搬をしないことによるCO₂排出抑制量を含めたシミュレーションを行っています。

「ウォータースタンド」設置によるプラスチックボトル削減本数・CO₂ 排出抑制量の推計



弊社は、2024年6月期から「ウォータースタンド」設置によるCO₂排出抑制量の推計方法を下記の通り変更いたしました。

- 2023年6月期まで
- ①日本国内での2019年度清涼飲料用PETボトル(以下、PETボトル)出荷本数236億本より、日本人1人あたりの年間使用本数を187.05本と算出。
 - ②「ウォータースタンド」1台あたりの標準使用人数を4人とし、①で算出したPETボトル全量を削減できると仮定した場合の削減効果を年間748.2本と算出。
 - ③上記②に対し、PETボトル1本あたりの重量を555ml、12.4gに設定。
(①、③の出典：PETボトルリサイクル推進協議会発行「PETボトルリサイクル年次報告書2020」)

- 2024年6月期から
- ①「ウォータースタンド」1台あたりの標準過流量の8割を使用した場合の抽出量を500ml入りPETボトルの本数に換算。
 - ②PETボトル1本あたりのCO₂排出量を算出。
 - ③①で算出したPETボトルの1本あたりの重量を500gと仮定し、100キロの距離を生産地から消費地へ輸送すると仮定しCO₂排出量を算出。
※軽油を燃料とする営業用10トントラックで積載率が不明な場合の輸送トンキロあたり燃料使用原単位を使用。
※単位発熱量および排出係数に算定省令の値を用いない。
 - ④「ウォータースタンド」からマイボトルに給水した場合とPETボトルを使用した場合のCO₂排出量の差分をCO₂排出抑制量として推計。

- ②・④の算出根拠：環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」
- ③の算出根拠：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.8) (令和4年1月) 第II編 温室効果ガス排出量の算定方法」
- ④の算出根拠：環境省「上水道・工業用水道、下水道部門における温室効果ガス排出等の状況」、温室効果ガス排出抑制等指針検討委員会、資料3

サーキュラーエコノミー(循環経済)型ビジネスモデル

一貫した商品管理・循環型ビジネスモデル

「ウォータースタンド」はレンタルサービスであるため、弊社が機器本体の所有権を持ち、契約期間中の定期メンテナンスや製品としての使用期間を終えた後の廃棄処分までを管理しています。このことにより、機器本体の長寿命化を実現できるほか、使用可能な部品を再利用するなど、廃棄物の削減や限りある資源の有効活用につなげています。

Reduce

機種の特徴に合わせた定期メンテナンスサービスを確実にご提供するため、シリアルNo.を付与し、全機器のメンテナンス記録や利用期間などを管理しています。また、万が一の故障修理対応や機器本体の交換などの対応情報も管理し、品質の保持と資源の有効活用を両立しています。

Reuse

使用済みの機器本体はすべて回収し、清掃作業を行いながら検品を進め、衛生状態を確保したうえで新品同様の機能を果たすリボーン機に生まれ変わります。リボーン機を活用することは、資源の有効活用と廃棄物削減に貢献します。

Recycle

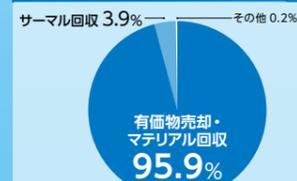
寿命を迎えた機器本体の多くは、有価物としての売却、産業廃棄物としての排出を通じて解体・破碎され、再生材原料として生まれ変わります。プラスチックは3～5割が、鉄・アルミ・銅・ステンレスなどの金属はほぼ全量が国内で再資源化され、家電製品の一部などに活用されます。今後も使用済み機器本体の資源化率の向上を目指し、廃棄物削減を推進していきます。

本体機器再生件数

年間 **26,025 件**

(2024年3月末)
※弊社茨城センターのみを計上

本体機器の処分方法内訳



使用が完了した機器本体の約8割は、有価物として回収・資源化されます



ハピネス創出に向けたパートナーシップ

地域社会への貢献

地域社会への貢献

自治体とのパートナーシップ

弊社は2024年10月末時点において自治体・教育委員会・水道局と101件の協定を締結し、マイボトルへの給水を呼びかけ、ワンウェイプラスチックボトルの削減において協働しています。

ごみ問題をはじめとする社会課題は、「課題となっているモノがどこから来て、どこへ行くのか」が見えないことから課題となりうると言われます。弊社は、熱中症予防に有効とされる「クーリングシェルター」などでの水分補給を呼びかけると同時に、地域の方との対話を通じて社会課題解決に取り組んでいます。

2024年10月31日時点

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年9月	島本町 (大阪府)	2022年7月	鉾田市 (茨城県)	2023年2月	札幌市 (北海道)	2024年3月	逗子市 (神奈川県)
2019年9月	葉山町 (神奈川県)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年7月	佐倉市 (千葉県)	2023年2月	豊岡市 (兵庫県)	2024年3月	東大和市 (東京都)
2019年11月	所沢市 (埼玉県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年8月	川口市 (埼玉県)	2023年3月	流山市 (千葉県)	2024年3月	豊岡市教育委員会 (兵庫県)
2020年1月	京都市 (京都府)	2021年12月	直方市 (福岡県)	2022年8月	*熊谷市 (埼玉県)	2023年4月	坂出市 (香川県)	2024年4月	戸田市 (埼玉県)
2020年2月	鎌倉市 (神奈川県)	2022年1月	杉並区 (東京都)	2022年8月	小美玉市 (茨城県)	2023年4月	唐津市 (佐賀県)	2024年5月	佐世保市・佐世保市教育委員会・佐世保市水道局 (長崎県)
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2022年1月	丹波篠山市 (兵庫県)	2022年8月	狛江市 (東京都)	2023年4月	鹿屋市 (鹿児島県)	2024年5月	千葉県
2021年1月	館林市 (群馬県)	2022年3月	妙高市 (新潟県)	2022年8月	茅ヶ崎市 (神奈川県)	2023年5月	練馬区 (東京都)	2024年5月	千代町 (埼玉県)
2021年1月	小田原市 (神奈川県)	2022年3月	白岡市 (埼玉県)	2022年9月	東村山市 (東京都)	2023年5月	神奈川県	2024年6月	伊万里市 (佐賀県)
2021年3月	川崎市 (神奈川県)	2022年3月	川崎町 (福岡県)	2022年9月	小金井市 (東京都)	2023年5月	三郷町 (奈良県)	2024年6月	厚木市 (神奈川県)
2021年3月	藤沢市 (神奈川県)	2022年3月	多摩市 (東京都)	2022年9月	諏訪市 (長野県)	2023年6月	廿日市市 (広島県)	2024年6月	那須町 (栃木県)
2021年4月	志摩市 (三重県)	2022年3月	神崎町 (千葉県)	2022年10月	木更津市 (千葉県)	2023年6月	門真市 (大阪府)	2024年6月	大和市 (神奈川県)
2021年4月	*春日部市 (埼玉県)	2022年4月	熊取町 (大阪府)	2022年10月	行田市 (埼玉県)	2023年7月	かずみがうら市 (茨城県)	2024年7月	山形県
2021年4月	西宮市 (兵庫県)	2022年4月	明和町 (三重県)	2022年11月	広島市 (広島県)	2023年8月	川越市 (埼玉県)	2024年7月	甲賀市 (滋賀県)
2021年4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年5月	上野村 (群馬県)	2022年11月	塩谷町 (栃木県)	2023年8月	袖ヶ浦市 (千葉県)	2024年7月	西東京市 (東京都)
2021年4月	吹田市 (大阪府)	2022年5月	町田市 (東京都)	2022年12月	坂東市 (茨城県)	2023年9月	滋賀県	2024年8月	朝霞市 (埼玉県)
2021年6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)	2022年5月	浜松市 (静岡県)	2022年12月	富田林市 (大阪府)	2023年10月	北本市 (埼玉県)	2024年8月	四街道市 (千葉県)
2021年6月	渋谷区 (東京都)	2022年5月	二宮町 (神奈川県)	2023年1月	蓮田市 (埼玉県)	2023年10月	開成町 (神奈川県)	2024年10月	京田辺市 (京都府)
2021年6月	泉大津市 (大阪府)	2022年5月	山梨市 (山梨県)	2023年1月	品川区 (東京都)	2023年11月	三浦市 (神奈川県)		
2021年7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年6月	田川市 (福岡県)	2023年1月	一宮町 (千葉県)	2023年11月	坂出市教育委員会 (香川県)		
2021年8月	日野町 (滋賀県)	2022年6月	日野市 (東京都)	2023年2月	足立区 (東京都)	2023年12月	米原市 (滋賀県)		
2021年8月	上尾市 (埼玉県)	2022年6月	横須賀市 (神奈川県)	2023年2月	寒川町 (神奈川県)	2024年3月	御前崎市 (静岡県)		

*2022年4月 春日部市 満了
*2024年4月 熊谷市 満了

Voice

小さな取り組みを継続することで大きなアクションに

クリエート浜松 館長 金田 直樹 様

クリエート浜松は、文化芸術広報活動を行う浜松市民の皆さんにとって一番身近でクリエイティブな場所です。施設利用者の方以外に、もっと市民の皆さまにわかりやすいSDGs達成に貢献できるアクションをしたいと活動を続けている中で誰もが無料で給水できる「ウォータースタンド」が設置されました。クリエート浜松が「誰も取り残さない」SDGsの取り組み拠点の一つとなり、そうした施設が市内全域に増えていくよう、小さい目標を少しずつ達成していきながら結果的に大きな目標達成につながればと考えます。



学校現場での水分補給をアシスト

2024年は猛暑日が早い段階から続く状況にあり、夏場の熱中症対策の一環として、学校で水分補給ができる環境整備へのニーズが増加しました。学校はこどもの居場所としてだけでなく、有事の際には地域の防災拠点としても重要な役割を果たすほか、生徒達の成長や外部環境に合わせて柔軟に変化していく場所です。弊社は子ども達が水分補給をためらいなくできるようアシストして参りたいと考えています。

Voice

マイボトルへの給水をSDGs達成に向けたアクションへのきっかけに

霞ヶ浦高等学校 校長 岡村 守 先生

霞ヶ浦高校は、時代が大きく変化するなかで自分で判断し行動できる、これからの社会を生き抜くことができる人財を育てることを教育目標としています。水分補給はストレス軽減や集中力を高める効果があると言われていて、生徒達が校内で過ごす時間は長く、夏の暑さも年々厳しくなっているため、「ウォータースタンド」を導入しました。マイボトルに給水することがきっかけでSDGsが自分ごとになるというのは「ウォータースタンド」の別の価値です。「ウォータースタンド」の受け皿にこぼれた水も、溜まって溢れそうになっているのを気づいた生徒達が清掃してくれています。



Voice

子ども達の水分補給をアシストし安全安心な教育環境を整備

取手市教育委員会 教育総務課 課長補佐 文随 正和 様

タンクレスで瞬間的に冷却し給水できるため、衛生面での不安が少なかったことが導入の際の決め手となり、安全安心な教育環境を整備するという観点で、取手市の公立の小・中学校にマイボトル用給水機として「ウォータースタンド」20台が設置されました。「ウォータースタンド」があると、持ってきた水筒が空になってもおいしいお水を補充することができるため、必要以上に大きな水筒を持って登校しなくて済みます。手洗い場の水を補充するには抵抗があった子ども達や保護者の方にとってもおいしいお水を補充できるのは安心だと思います。



地域の企業との取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、パートナーシップによる「共創」が不可欠です。弊社は、多様な業種・業態の企業同士が知見を持ち寄り、相互に持続的な成長を遂げつつサステナブルな社会の実現に貢献することを目指しています。

Voice

「おもてなし」の中にあるSDGsの精神

ホテル日航つくば 副総支配人 兼 総務部長 関 博幸 様

2023年6月にSDGsを実践する国内宿泊施設の国際認証「Sakura Quality An ESG Practice (通称：サクラクオリティグリーン)」において「4御衣黄ザクラ」を取得したホテル日航つくばは、地域や業種を超えた「地域のハブ」として、ホテルにしかできない新しいアクションを起こしてSDGs達成に貢献しています。プラスチックボトルやアメニティなどの使い捨てプラスチックをなくしたり減らしたりする世界的な潮流の中にあって、当ホテルではロビーと客室フロアにどなたでもご利用頂けるマイボトル用給水機として「ウォータースタンド」を設置しています。「おもてなし」は時代に合わせて変化しながらも、人と人が互いに思いやる心や、人とのつながりから生まれるもので、SDGsの要素がたくさん含まれています。



多様なステークホルダーとのパートナーシップ

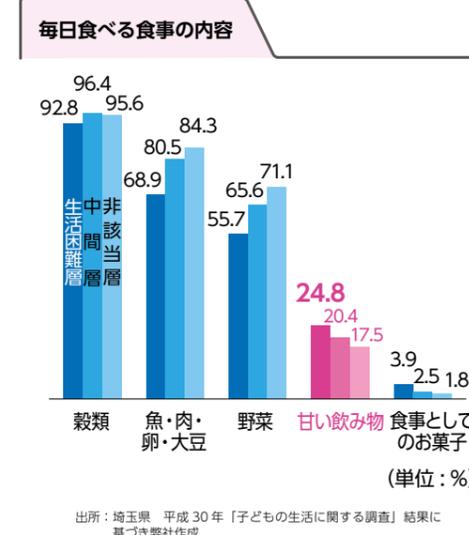
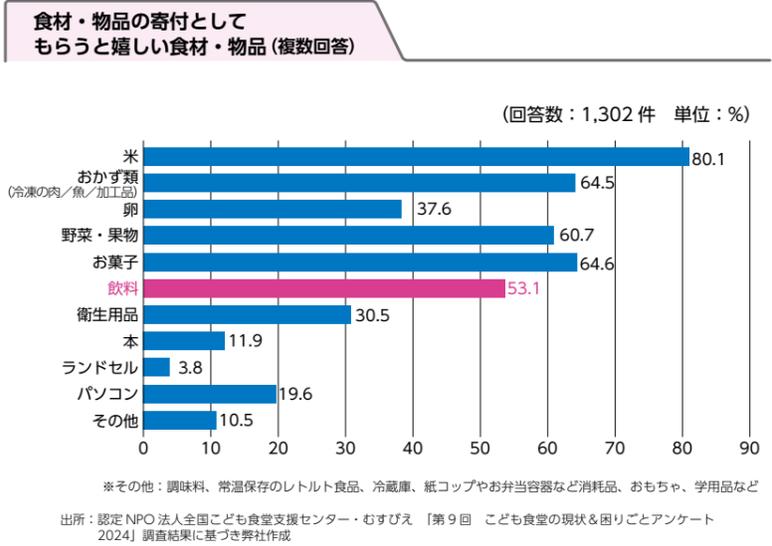
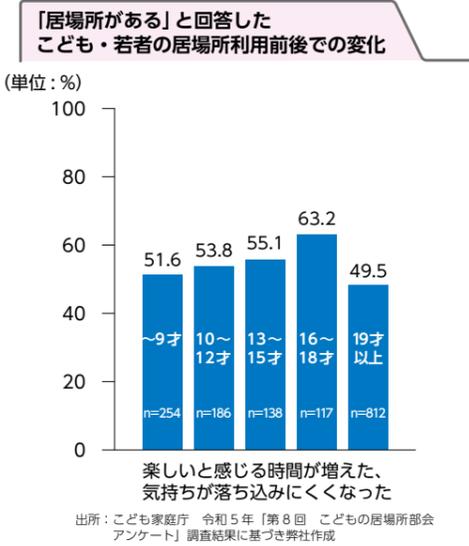
地域社会への貢献

社会の公器としての責任遂行と社会価値の創出

「こどもの居場所」である子ども食堂への「ウォータースタンド」設置

昨今、地域のつながりの希薄化や少子化により子ども同士の育ち合い・学び合いの機会の減少が社会課題となっています。弊社はミライを生きる子ども達を最も大切なステークホルダーと位置づけ、「こどもが安全で安心して過ごせる居場所づくり」に貢献したいと考えています。

2024年から、全国に10,000か所以上存在する子ども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会の実現を目指す認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえと連携し、子ども食堂への「ウォータースタンド」設置をスタートしました。埼玉県調査では、生活困難層のこどもがそれ以外の層のこどもよりも甘い飲み物を摂取しているとの報告がありました。「ウォータースタンド」の設置を通じて、こどもの健康を維持・増進するためにおいしいお水を飲んで頂ける環境づくりに取り組んで参ります。



「ウォータースタンド」設置に対する子ども食堂の方からのコメント

地域の水道水に有機フッ素化合物 (PFOS-PFOA) が含まれているとされ、その水で調理するのはどうか?と問い、ボトル型サーバーを取り付けました。毎月かなりの負担になっていたため、浄水型ウォーターサーバーの設置は助かります。

夏場は特に汗もかき、子ども達は自ら水道のお水をがぶがぶ飲みますがその度にまずいと言っておりました。予算が足りないなか、早く改善してあげたいとスタッフ一同奮闘してきたので浄水型ウォーターサーバーの設置はありがたいです。

水道水が美味しくないという指摘を受けて、ボトル飲料を購入し提供してました。ボトル飲料が値上がりするなか、30人近く参加になると2リットルの水を3本ほど使います。飲料購入の負担がなくなれば、とても助かります。

学校や遊びに行くのに、水筒も準備してもらえない子ども達がいるので、助かります。

給水の呼びかけの変遷

弊社ではかねてより「マイボトルへ給水する」という行動と、環境問題などの社会課題に対する知識を一体的にお伝えする取り組みを継続してきました。公立の学校などに設置する「ウォータースタンド」には、環境問題について伝えるポスターやパネルを併設しているほか、タブレットやChatGPTを搭載したAIロボットなどを活用し、様々な方法でマイボトルへの給水と社会課題への理解を呼びかけています。



災害用備蓄水の提供

水道水や電気などのインフラを活用する「ウォータースタンド」は、災害時などの不測の事態に備えて頂く必要があります。弊社は、お客さまのお水に関する不安を払拭頂くため、2024年6月期において9,078本の災害用備蓄水をプレゼントしました。



ミライの世代との対話

科学技術館の「ボトルフリープロジェクト」

東京・北の丸公園にある科学技術館は、マイボトルへの給水を通じてワンウェイプラスチックボトルを削減する取り組み「ボトルフリープロジェクト」に参画し、休憩室に「ウォータースタンド」を設置しています。弊社は「ウォータースタンド」設置を記念して、来館者にマイボトルへの給水を促し、ペットボトルなどワンウェイプラスチック製品の使用抑制を呼びかける取り組みとして出前授業を実施しました。



茨城大学「茨大広報学生プロジェクト」のマイボトルコンテストをサポート

「茨大広報学生プロジェクト」は、広報紙の編集やイベント企画、InstagramなどのSNSを通じた情報発信を行う学生のコミュニティです。同プロジェクトで茨城大学オリジナルグッズとしてマイボトルを制作した際、「ウォータースタンド」を設置しサポートしました。

Voice

「茨大広報学生プロジェクト」ご担当者の声

グッズというのは誰かの目に触れたり、実際に使って頂いたりすることができる「形あるもの」です。自分達で考えて「形」にしていく作業の中で、マイボトルを対象としたことで単なるモノとしてだけでなく、プラスチック削減のために給水するという行動を促すアイテムとなり、SDGsの観点を意識することができました。

グッズやSNS、広告などを世に出す時、発信者は社会課題の解決や社会貢献につなげることが出来ます。

発信者として社会課題を見つけ、課題を解決するしかけを創っていった経験は自信につながり、この経験を通じて感じたことや得たことは社会人になっても活かせると思います。



会社概要

商号	ウォータースタンド株式会社	資本金	5,000万円(2024年6月期)
設立	1969年3月31日	売上高	124億2,439万円(2024年6月期)
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463	従業員数	595名(パート・アルバイト含む)(2024年6月期)
		社員数	353名(2024年6月期)

役員	代表取締役社長	本多 均
	常務取締役	近藤 紀行
	常務取締役	金 昌勲
	取締役	福嶋 友宣
	取締役	丸山 清治
	監査役	皮籠石 剛

取引銀行 埼玉りそな銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 武蔵野銀行 他

主要取引先 Coway株式会社 株式会社ジャスティス 大林通商株式会社 フォーレスト株式会社 株式会社カウネット
東急不動産株式会社 株式会社東急ホテルズ ダイキンHVACソリューション東京株式会社 全国地方自治体 官公庁 他

受賞歴 / 事例紹介 / 補助事業への採択

- ・公益財団法人さいたま市産業創造財団 デジタル技術活用新ビジネス・新サービス開発補助金
- ・かわさきSDGs大賞2023 特別賞「川崎市地球温暖化防止活動推進センター賞」
- ・令和4年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」
- ・脱炭素チャレンジカップ2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」
- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・2021年度日本子育て支援大賞
- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード2020 伝えたい日本の「サステナブル」 サステナアワードルーキー賞
- ・経済産業省関東経済産業局 SDGsに取り組む中小企業等の先進事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

外部団体・イニシアティブへの参加 一般社団法人 新経済連盟 埼玉県経営者協会 CIESEF (プラチナサポーター)

ESG 情報

E 環境方針

弊社は、事業を通じた「ミッション」の達成と「ビジョン」の具現化を目指し、経営者から従業員まで全員が地球環境保護の重要性を認識し、環境方針を実践することを宣言しています。具体的な実践事例についてはメディア「ボトルフリープロジェクト」で公表しています。



環境方針



ボトルフリープロジェクト

S 消費者庁「消費者志向自主宣言」

弊社は消費者庁が推進する「消費者志向経営」に賛同し、その実現に向けた弊社の方針を表明しています。



消費者志向
自主宣言

G ダイバーシティ&インクルージョン

弊社は、理念や目指す姿に共感し共に事業運営に携わるすべての従業員を社員持株会の対象としています。従業員の資産形成を支援するだけでなく、従業員が経営を監督することによりガバナンス体制の強化を図り、ダイバーシティ&インクルージョン推進に取り組んでいます。2024年9月には、全国の営業所の従業員が一堂に会し株主総会・社員総会を開催しました。



沿革

1969年3月	資本金200万円にて株式会社サニクリーン大宮(旧社名)設立 サニクリーン東京のフランチャイジーとしてダストコントロール事業を開始
1986年8月	アメニティ(環境快適化)商品の第一弾として空気清浄機のレンタルを開始以降、アメニティ商品の拡充を図る
1995年1月	営業地域の拡大により商号を「株式会社サニクリーンジャスト」に変更する
1996年10月	「株式会社ジャスト」に商号を変更し、事業領域を拡大する
1998年6月	サニクリーン本部フランチャイズを離脱
1998年7月	リユーストナー事業開始
2000年9月	オフィス通販事業開始
2000年11月	加須工場、加須支店にてISO14001を認証取得
2004年11月	本社、さいたま支店にてISO14001を認証取得
2005年7月	宅配水事業(ボトルウォーター)開始
2011年4月	本社社屋(さいたま市大宮区桜木町4-463)完成
2012年2月	Coway株式会社(韓国)と業務提携し、浄水器事業を拡大
2013年8月	Coway株式会社(韓国)から日本コーウェイの事業を譲受
2018年7月	ブランド名との統一を目的とし、商号を「ウォータースタンド株式会社」に変更する
2019年6月	ボトルフリープロジェクト開始
2021年9月	ワンウェイプラスチック削減とCO ₂ 排出量抑制を目的とし、ボトル式ウォーターサーバー事業から撤退
2023年1月	ISO14001自己適合宣言へ移行
2023年3月	D2Cセンター(さいたま市大宮区桜木町4-460)開設

報告期間

当レポートの報告対象期間は2023年7月1日～2024年6月30日ですが、一部に2023年6月以前・2024年7月以降の活動内容などを含みます。



企業情報サイト



サービスサイト

アドバイザー・コメント

ESG経営において社会課題の解決を本業の中で推進することはお題目になりがちですが、ウォータースタンドでは、自治体とのパートナーシップ、「こども」と「ミライ」を応援する、という切り口で、本業の成長と社会課題の解決を両立しようとして試みています。従来からマイボトルを持参するライフスタイルを提案し、廃棄物削減や気候変動対策に貢献してきましたが、加えて自治体や教育機関と協働して無料給水スタンドを設置し、温暖化の弊害を緩和しようとして地域の皆様に寄り添った経営戦略を実践しています。紙面でも取り上げた唐津市では、水資源保護の要になる海洋環境の生態系まで配慮した活動を展開し、企業特性に相応しいポイントで貢献する基盤を整えつつあり、大いに期待しています。



柏原総合環境会計事務所 柏原岳人

ESGコンサルタント/税理士
ISO審査機関の環境報告書審査員を皮切りに、ESG情報開示の実務で多数の企業を指導する